

令和7年度

第1回 入間市立図書館協議会

日時:令和7年7月2日(水)

午後2時00分～午後3時30分

会場:入間市産業文化センターB棟2階

研修室 A・B

第1回入間市立図書館協議会

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 第4次入間市立図書館基本計画について【資料1、資料2、参考資料】

4 報告事項

(1)令和6年度図書館利用状況について(利用統計、実績)【資料3】

(2)入間市立図書館分館指定管理者選定について

5 その他

6 閉 会

協議事項 第4次入間市立図書館基本計画の策定について

【今年度の協議事項】

「第3次入間市立図書館基本計画」は、令和8年度末に計画満了を迎えます。令和9年度から5ヶ年の計画を策定するためには、令和7年度から検討を進める必要があります。

「第4次入間市立図書館基本計画」は、「入間市総合計画基本構想」や「入間市教育大綱」及び「入間市教育振興基本計画」を踏まえたうえで策定する必要があります。

今年度の入間市立図書館協議会では、第3次入間市立図書館基本計画の現状と課題を整理し、次期計画に求められる基本理念、基本方針及び目標等についてご審議いただきたいと思っております。

【図書館を取り巻く社会環境の変化】

- ・人口減少、少子化・高齢化への備え
- ・こどもまんなかの視点による行政運営
- ・人と自然が共生した持続可能な社会の構築
- ・安全・安心な生活環境と都市（まち）の持続性の確保
- ・デジタル技術の進展に対応した行政運営

※入間市SDGs未来都市計画を令和7年3月に策定しています。

SDGsの目標年度、令和12年（2030年）のあるべき入間市の姿を「健康と幸せを実感できるWell-being Cityいるま」としています。

【図書館に関する国の動向】

- ・令和元年（2019年）「読書バリアフリー法」が成立
- ・著作権法の一部改正

【検討ポイント】

- (1)計画の基本理念、基本方針等がこれからの時代のニーズに合っているかを確認する。
- (2)計画の基本理念、基本方針等の実現に向けて、各施策・事業の目的と目標の設定が的確であるかを確認する。
- (3)現状と課題を抽出したうえで、次期計画の策定方針を検討する。

【計画策定の視点】

- (1)策定方針に基づいて、基本理念・基本方針等を再検討するとともに、新たな政策・施策・事業を設定し、目的と目標を明確にする。

(2)教育部をはじめ市内他部署、民間事業者、地域団体等、様々な分野との連携を重視した検討を進める。

(3)「まちづくり」「地域づくり」にどのように貢献できるかを意識して検討を進める。

(4)実績だけでなく、成果を明確に評価できるようにする。

【第1回入間市立図書館協議会での協議事項】

入間市立図書館では、第4次図書館基本計画においても、基本理念を「くらしに役立つ 学びを支える 身近な図書館」とし、「市民のくらしに役立つ図書館」、「市民の学びを支える図書館」、「市民にとって身近な図書館」となるよう目指し、また、基本理念に基づき、基本方針を掲げたいと考えております。

第1回目の会議では、この基本理念と基本方針が、これからの時代のニーズに合っているか検討していただきたいことから、「第3次入間市立図書館基本計画」の現時点における進捗状況と課題について報告いたします。

第2回目の会議で、図書館協議会委員の皆様が考える次期計画に向けた意見を賜りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【今後のスケジュール】

回／開催時期	審議内容
第1回／ 7月 2日	第3次入間市立図書館基本計画の進捗状況と課題について
第2回／ 11月	第4次入間市立図書館基本計画に向けた意見について
第3回／ 3月	次期4計画の素案（案）への意見について

第3次入間市立図書館基本計画 基本方針内容の成果と課題について

令和7年7月2日
資料2

第4次入間市立図書館基本計画の策定については、「入間市総合計画基本構想」や「入間市教育大綱」、及び「入間市教育振興基本計画」等を踏まえる必要があります。

また、第4次入間市立図書館基本計画を策定するにあたり、第3次入間市立図書館基本計画の成果と課題を明確にし、基本計画策定に反映させる必要があります。

令和6年度第2回、第3回図書館協議会において検討した意見と達成状況を基に、基本方針についての成果と課題をまとめたものです。

本資料は、基本理念及び基本方針の内容を検討する際の参考とするものです。

基本理念

「くらしに役立ち 学びを支える 身近な図書館」

基本方針

①計画的な資料の収集と蔵書管理

- 1) 図書館資料の収集・整理・保存・提供
- 2) 行政資料・郷土資料の収集
- 3) 参考図書収集
- 4) 新聞、雑誌の収集
- 5) 視聴覚資料の収集

成果

1) 図書館資料の収集・整理・保存・提供

- ・「入間市立図書館資料収集基準」に基づき、図書館資料を計画的に収集した。
- ・「入間市立図書館資料除籍基準」に基づき、定期的に適切な除籍を行い、限られた書架を有効活用した。
- ・市の公共施設へのリサイクル本配布事業を再開し、除籍図書を有効活用した。
- ・各館にリサイクルコーナーを設置し、除籍図書を有効活用した。
- ・令和6年度にクラウドファンディング型ふるさと納税事業に取り組み、児童書をさらに充実させた。

4) 新聞、雑誌の収集

- ・入間市立図書館雑誌スポンサー制度を活用し、寄贈雑誌を充実させた。

課題

1) 図書館資料の収集・整理・保存・提供

- ・除籍しきれなかった分野もあり、適切に除籍し、必要とされる情報を提供する。
- ・リサイクルコーナーを継続的に配置する。

2) 行政資料・郷土資料の収集

- ・郷土資料コーナーに入間市ゆかりの人物コーナーを作るなど、さらに充実させる。
- ・地域での課題を把握し、解決の事例等を市民へ提供する。

②学びの拠点となる図書館サービスの提供と充実

- 1) レファレンスサービス体制の充実
- 2) 貸出・返却の新しいサービスや資料の提供
- 3) 電子図書館サービスの提供
- 4) テーマ本の展示や利用促進事業の実施
- 5) 情報発信、広報活動の充実

成果
1) レファレンスサービス体制の充実 ・所蔵資料のほか、県立図書館や国立国会図書館等をはじめ、類縁機関の資料等により、利用者の求めに応じた。 ・資料検索データベース（読売新聞データベース等）を活用し、レファレンスサービスを充実させた。 ・県主催の研修会へ参加することにより、職員のレファレンス能力向上に努めた。
2) 貸出・返却の新しいサービスや資料の提供 ・Felica（フェリカ）での貸出しが可能となった。 ・入間市立図書館公式LINEアカウントの開設により、利用者のニーズに合わせたサービスを展開した。 ・移動図書館「やまぼと号」の利用状況等を踏まえ、巡回場所や日程の定期的な見直しを行っている。 ・移動図書館「やまぼと号」で、巡回していない小・中学校に特別訪問したり、青少年活動センターのフェスティバルに参加したことにより、サービスの拡充を図った。
3) 電子図書館サービスの提供 ・国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスを開始した。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した電子図書拡充事業により電子図書を拡充させた。
課題
1) レファレンスサービス体制の充実 ・職員のレファレンス能力を向上させるため、研修を受講する。 ・レファレンスをメールで受け付けるなど、サービスの充実を図る必要がある。
2) 貸出・返却の新しいサービスや資料の提供 ・地区センター図書室との連携について検討する。 ・移動図書館の新たな巡回場所の検討する。 ・移動図書館の付加価値（おはなし会実施等）を検討する。
3) 電子図書館サービスの提供 ・電子図書を充実させる。
4) テーマ本の展示や利用促進事業の実施 ・図書館独自のテーマを設定し、展示や貸出しを行う。 ・現在の図書館利用者は、高齢者と親子連れが多い。今後は、中間層の掘り起こしを行う。 ・SDGs（環境問題を含む）関連資料の充実させる。
5) 情報発信、広報活動の充実 ・図書館だよりは、紙媒体でも継続発行する。 ・入間市立図書館公式LINEの利便性について周知する。 ・講演会開催や地域の子育て・環境・福祉活動グループ、関連部署と連携し、学びの拠点となることを目指す。

③誰もが利用しやすい図書館サービスの提供と充実

- 1) 子どもの読書活動の推進
- 2) 障害のある方にも利用しやすいサービスの提供
- 3) 高齢者にも利用しやすいサービスの提供
- 4) 多文化サービスの充実

成果
<p>1) 子どもの読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・乳幼児が本に親しむ機会を充実させるため、赤ちゃん絵本コーナーの充実を図った。・コロナ禍で中止していた「赤ちゃん向けおはなし会」を再開した。・定期的なおはなし会や「ブックスタート」関連事業を開催した。・本の読み手と聞き手が同時に読書を楽しむ共有体験をしたり、子どもが本とのつきあい方を学んだりすることのできる読み聞かせを通じて、読書活動を推進した。・読み聞かせボランティアと連携したおはなし会を開催し、親子のコミュニケーションや子育て支援の場を提供した。・小中学校に団体貸出や配本サービスを行うことで、学校図書館を支援した。・保育所や学童保育室、放課後子ども教室等に団体貸出や配本サービスを行い、他の施設等と連携した読書活動を推進した。・小学2年生を対象とした「図書館利用教室」、小学3年生を対象とした「図書館施設見学」を実施し、図書館をより知ってもらう機会をつくった。・図書館が薦める児童書を紹介したブックリスト「あれこれブックガイド」を発行し、市内小中学校の全児童、全生徒に配信し、読書活動を推進した。・「入間市公式広報ツール」すぐーるやLINEを活用し、「あれこれブックガイド」や図書館の情報を児童・生徒に配信した。・中学生社会体験チャレンジ事業やひばり教室（適応指導教室）の社会体験の受け入れ事業等を行い、社会体験を支援することで、より図書館を身近に感じてもらうことができた。
<p>2) 障害のある方にも利用しやすいサービスを提供</p> <ul style="list-style-type: none">・バリアフリー図書やリーディングトラッカーを備えた「りんごの棚」を設置した。・誰もが読みやすいLLブックの充実を図った。・視覚障害者に対して、朗読ボランティアと連携し、デイジー図書の作製や貸出しを行った。
<p>3) 高齢者にも利用しやすいサービスを提供</p> <ul style="list-style-type: none">・大活字本の充実を図った。
<p>4) 多文化サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none">・やさしい日本語で書かれた日本語多読図書の充実を図った。・外国語資料の収集に努めた。
課題
<p>1) 子どもの読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・配本サービスのさらなる充実を図る。・おはなし会の開催日程（日時、回数等）を検討する。・赤ちゃんタイムを設け、充実させる。・図書館利用教室、図書館見学へ全校が参加できるよう、時期や来館方法について検討する。・「入間市 図書館を使った調べる学習コンクール」へのさらなる参加を目指す。・小・中・高と学年が上がるごとに図書館利用率が下がり、特に高校生の利用率の減少が顕著なため、ティーンズコーナーとイベントの充実を図る。
<p>2) 障害のある方にも利用しやすいサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none">・視覚障害者だけではなく、身体障害者や知的障害者に対してのサービスについても検討する。

④図書館の環境整備と効率的な運営

- 1) 本館と分館の運営体制の強化
- 2) 図書館システムの構築
- 3) 本館及び分館の施設の修繕や整備
- 4) 居場所としての図書館環境の充実
- 5) ボランティア活動の推進
- 6) 他自治体や機関との連携
- 7) 安心して利用できる環境の整備

成果
1) 本館と分館の運営体制の強化 ・分館については、指定管理者により、様々な自主事業等を実施することで、民間のノウハウを生かした効率的な運営をしている。 ・本館と分館で、各種調整会議を通じて情報共有を図るとともに、図書館運営方針の徹底を図った。
2) 図書館システムの構築 ・システム更新により、図書発注業務が効率化され、迅速に新刊図書を利用者に提供できるようになった。 ・システム更新により、統計データを様々な条件から抽出できるようになり、多方面から分析が可能となった。
3) 本館及び分館の施設の修繕や整備 ・西武分館の空調設備については、全系統改修工事が完了した。金子分館についても、空調設備を改修した。
4) 居場所としての図書館環境の充実 ・館内の指定場所での水分補給をできるようにした。
5) ボランティア活動の推進 ・ボランティアグループを対象に読み聞かせ研修会を開催し、さらなる活動の推進を図った。 ・コロナ禍で中止または縮小していた「冬のおたのしみ会」を再開し、ボランティア活動の場を提供した。 ・宮寺配本所の充実を図るため、定期的におはなし会を行った。
6) 他自治体や機関との連携 ・入間地区公共図書館協議会や西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン5市）で連携会議を行い、共通の課題について協議した。
課題
2) 図書館システムの構築 ・DXを推進し、サービスの向上を図る。
3) 本館及び分館の施設の修繕や整備 ・ユニバーサルデザイン、バリアフリー（資料、施設・設備）を推進する。
4) 居場所としての図書館環境の充実 ・閲覧席、スペースの拡充について検討する。
5) ボランティア活動の推進 ・読み聞かせボランティア養成講座を開催し、ボランティアの育成を図る。 ・中学生、高校生のボランティア活動の場を設ける。
6) 他自治体や機関との連携 ・庁内各部局とさらに連携し、市民に様々なサービスの提供を図る。
7) 安心して利用できる環境の整備 ・ユニバーサルデザイン、バリアフリー（資料、施設・設備）を推進する。

◇「第3次入間市立図書館基本計画」（令和4年度～令和8年度）における5年間の目標値に対する各年度の現状値

項目名	令和2年度末現状値	令和3年度末現状値	令和4年度末現状値	令和5年度末現状値	令和6年度末現状値	令和8年度末目標値
資料蔵書点数	582,693点	581,043点	587,302点	583,599点	583,362点	600,000点
郷土資料数	14,380冊	14,372冊	12,999冊	14,725冊	15,025冊	15,600冊
参考資料数	18,752冊	18,486冊	18,539冊	17,976冊	18,128冊	19,000冊
視聴覚資料数	11,009点	10,750点	10,369点	9,811点	9,402点	11,000点
児童書数	178,622冊	178,366冊	179,075冊	181,308冊	184,423冊	185,100冊
大活字本数	4,094冊	4,195冊	4,318冊	4,415冊	4,498冊	4,500冊
LLブック数	36冊	39冊	35冊	41冊	56冊	60冊
デジジー図書数	70点	74点	82点	86点	92点	85点
外国語資料数	1,793冊	1,795冊	1,884冊	1,887冊	1,989冊	1,800冊
電子図書館蔵書点数	——	1,485点	3,477点	3,277点	3,267点	2,000点
電子図書館登録者数	——	1,367人	1,856人	2,222人	2,515人	3,000人
司書有資格者数	35人	35人	40人	40人	38人	39人
資料貸出者数	145,956人	203,395人	200,546人	209,810人	201,462人	261,000人
資料貸出点数	480,765点	689,720点	670,698点	692,186点	664,162点	855,000点
登録者数	1,652人	2,822人	3,483人	3,802人	3,206人	1,750人
入館者数	341,039人	485,364人	500,396人	542,519人	554,732人	720,000人

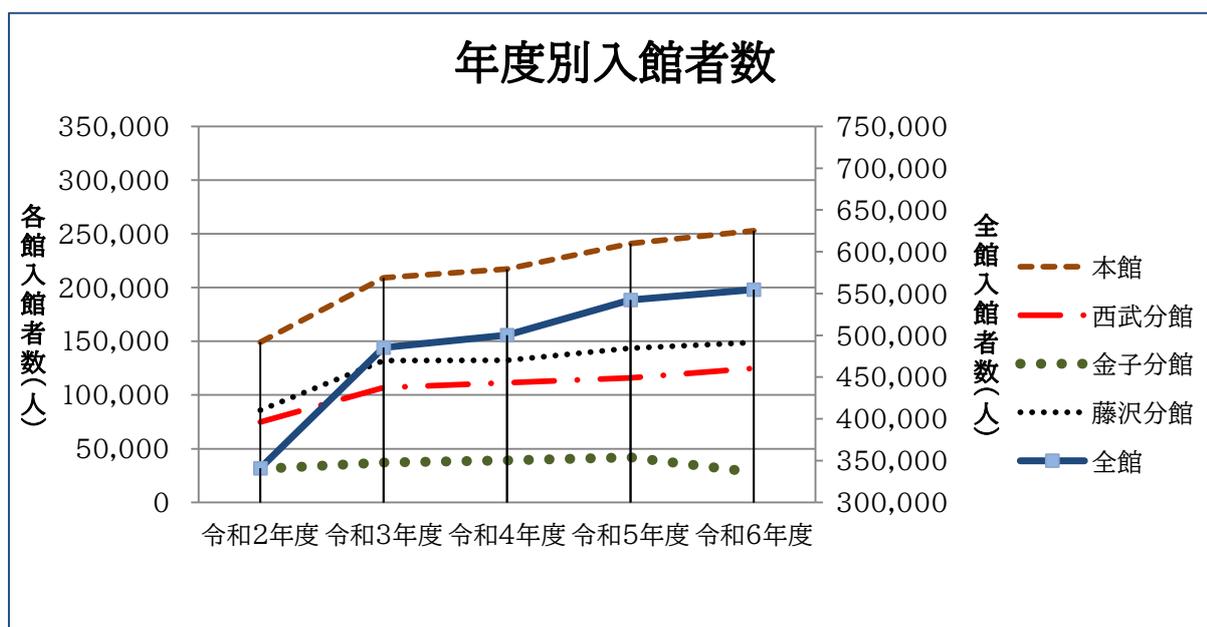
令和6年度図書館利用状況について

資料3

1 年度別 入館者数

(単位:人)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本館	149,111	209,232	217,195	241,039	252,928
西武分館	74,817	107,006	111,501	116,037	124,847
金子分館	31,269	37,053	39,261	41,964	28,082
藤沢分館	85,842	132,073	132,439	143,479	148,875
年度計	341,039	485,364	500,396	542,519	554,732



入館者数は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人流抑制の影響により大きく減少したが、令和3年度より緩やかに回復している。全体的には、コロナ禍前のピークである平成30年度の利用者比(703,586人)で、78%まで回復した。ただし、金子分館については、金子地区センター改修工事のため、5月末から8月末まで臨時休館した影響により33%の減となった。

令和2年度は 対前年度比46.60%減少。

令和3年度は 対前年度比42.30%増加。

令和4年度は 対前年度比3.09%増加。

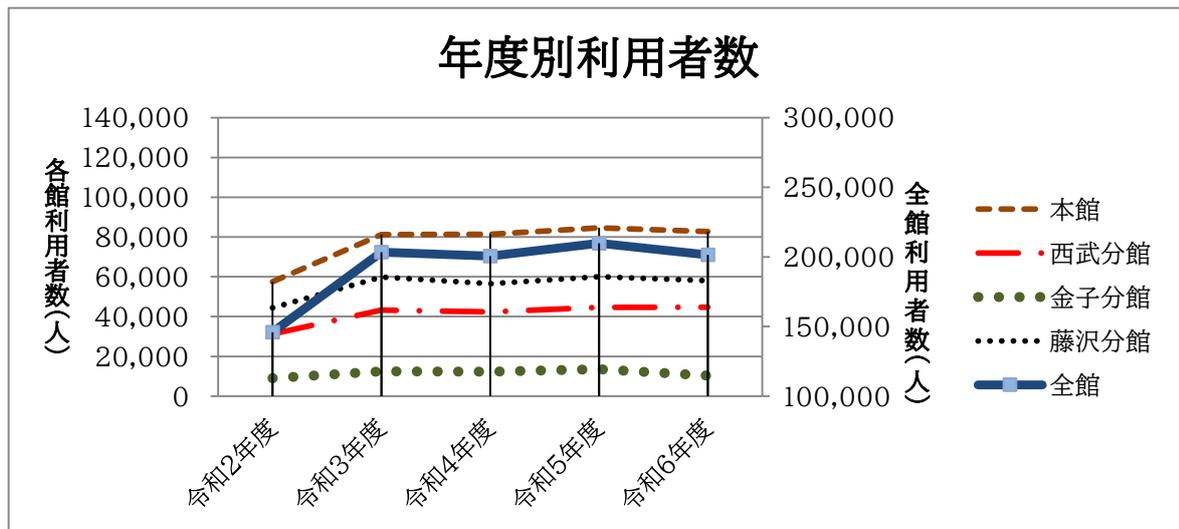
令和5年度は 対前年度比8.42%増加。

令和6年度は 対前年度比2.25%増加。

2 年度別 利用者数(貸出者数)

(単位:人)

内 訳 \ 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本 館	57,525	81,220	81,461	84,616	82,787
西 武 分 館	31,241	43,304	42,387	44,602	44,710
金 子 分 館	9,029	12,421	12,339	13,559	10,380
藤 沢 分 館	44,412	59,930	56,587	60,049	57,992
移 動 図 書 館	3,252	5,884	7,168	6,258	4,820
配 本 所	497	636	604	726	773
年 度 計	145,956	203,395	200,546	209,810	201,462



令和2年度開館日数	250日
令和3年度開館日数	296日(ただし本館のみ1/10(月)臨時休館のため295日)
令和4年度開館日数	284日(ただし本館のみ1/9(月)臨時休館のため283日)
令和5年度開館日数	299日(ただし本館のみ1/8(月)臨時休館のため298日)
令和6年度開館日数	301日(ただし本館のみ1/13(月)臨時休館のため300日)

令和3年度は全体で対前年度比39.35%増加。館別では、本館(41%)、西武分館(38.6%)、金子分館(37.6%)、藤沢分館(34.9%)と各館ともに大きく前年度を上回った。これは、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、人流抑制措置が緩和されたことに伴って回復したものと考えられる。

令和4年度は、図書館システム更新による臨時休館したことで、全体では対前年度比1.4%減少。館別では本館(2.9%)、西武分館(▲2.1%)、金子分館(▲0.6%)、藤沢分館(▲5.5%)と、分館は若干減少した。

令和5年度は、臨時休館もなく前年度と比較すると4.62%増加した。

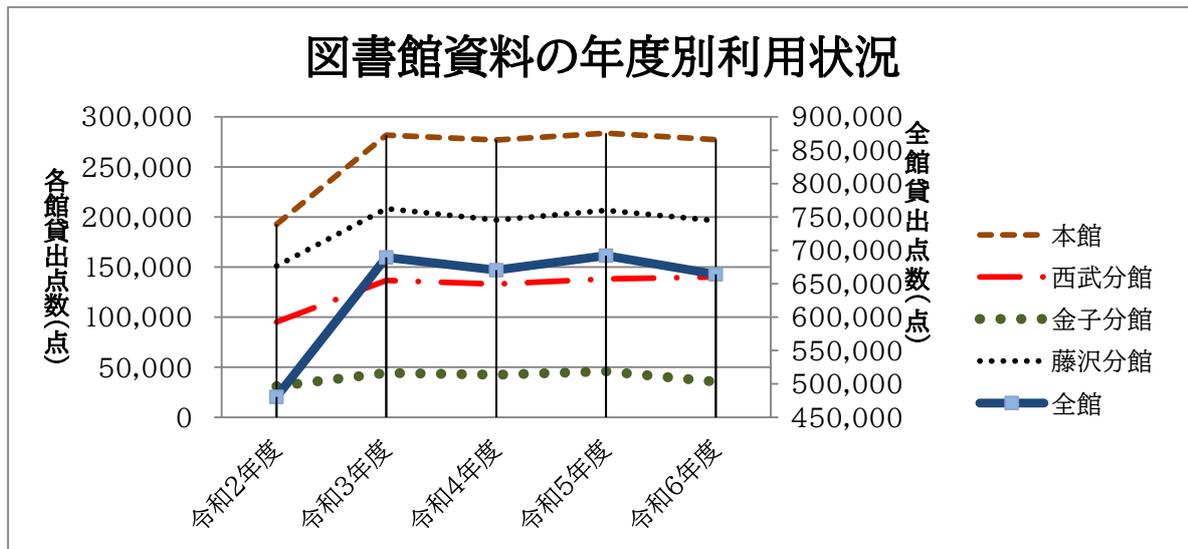
令和6年度は、前年度と比較すると3.98%減少した。

館別では本館(▲2.16%)、西武分館(2.1%)、金子分館(▲23.45%)、藤沢分館(▲3.43%)で、西武分館を除き減少した。また、移動図書館は1,438人減って22.98%の減、配本所は47人増えて6.47%の増であった。なお、金子分館の数字は、地区センター改修工事に伴う臨時休館の影響によるものである。

3 図書館資料の年度別利用状況(貸出点数)

(単位:点)

内 訳 \ 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本 館	192,759	281,869	277,008	283,701	277,101
西 武 分 館	95,218	136,794	133,178	138,309	140,106
金 子 分 館	31,026	44,316	42,502	45,894	35,597
藤 沢 分 館	151,080	208,375	197,074	206,502	196,403
移動図書館	9,248	16,787	19,548	15,967	12,804
配 本 所	1,434	1,579	1,388	1,813	2,151
年 度 計	480,765	689,720	670,698	692,186	664,162



令和3年度は対前年度比43.46%増。館別では、本館(46.23%)、西武分館(43.66%)、金子分館(42.84%)、藤沢分館(37.92%)と各館ともに前年度から増えた。過去5年間のピークである平成30年度との比較では、ピーク時の8割程度の利用となっている。

令和4年度は、対前年度比で2.76%減少した。館別では本館(▲1.72%)、西武分館(▲2.64%)、金子分館(▲4.09%)、藤沢分館(▲5.42%)と各館ともに減少した。こうした中で、グラフにはないが、移動図書館のみ、16.45%増加した。

令和5年度は、対前年度比3.20%増。館別では、本館(2.42%)、西武分館(3.85%)、金子分館(7.98%)、藤沢分館(4.78%)と各館ともに前年度から増えた。グラフにはないが、移動図書館のみ、18.32%減少し、配本所は30.62%増加した。

令和6年度は、対前年度比4.05%減。館別では、本館(▲2.33%)、西武分館(1.30%)、金子分館(▲22.44%)、藤沢分館(▲4.89%)と西武分館を除き減となった。また、移動図書館は3,163点減って19.81%の減、配本所は338点増えて18.64%増加した。なお、金子分館の数字は、地区センター改修工事に伴う臨時休館の影響によるものである。

4 年度別 資料点数(図書館資料)

年度 内 訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般図書	379,882	379,152	385,340	380,248	377,515
児童図書	178,622	178,366	179,075	181,308	184,423
雑誌	13,110	12,701	12,436	12,146	11,930
小 計	571,614	570,219	576,851	573,702	573,868
コンパクトディスク	5,305	5,304	5,474	5,521	5,524
カセットテープ	2,410	2,395	2,065	1,745	1,645
ビデオテープ	1,996	1,701	1,354	1,033	731
D V D	1,259	1,311	1,437	1,472	1,462
美術作品 (複製画)	39	39	39	40	40
DAISY 図書	70	74	82	86	92
小 計	11,079	10,824	10,451	9,897	9,494
総資料点数	582,693	581,043	587,302	583,599	583,362

5 令和6年度 館別資料点数(図書館資料)

館名 内 訳	本館	移動図書館	配本所	西武分館	金子分館	藤沢分館
一般図書	173,374	1,728	3,432	99,746	29,467	69,768
児童図書	75,704	1,756	3,887	41,356	23,272	38,448
雑誌	5,955	7	0	2,590	1,217	2,161
小 計	255,033	3,491	7,319	143,692	53,956	110,377
コンパクトディスク	5,509	15	0	0	0	0
カセットテープ	1,645	0	0	0	0	0
ビデオテープ	731	0	0	0	0	0
D V D	1,449	13	0	0	0	0
美術作品 (複製画)	40	0	0	0	0	0
DAISY 図書	92	0	0	0	0	0
小 計	9,466	28	0	0	0	0
総資料点数	264,499	3,519	7,319	143,692	53,956	110,377

6 視聴覚ライブラリー機材等 年度別利用状況(西武分館)

内 訳		年 度				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
16ミリフィルム	所有数	235	235	236	236	236
	利用者数	0	0	0	0	0
ビデオテープ	所有数	20	20	20	19	19
	利用者数	0	0	0	0	0
DVD	所有数	193	199	219	218	221
	利用者数	4	11	16	19	14
レーザーディスク	所有数	122	122	122	122	122
	利用者数	0	0	0	0	0
16ミリ映写機	所有数	5	5	5	5	5
	利用者数	0	0	0	0	0
スライド映写機	所有数	2	2	2	2	2
	利用者数	0	0	0	0	0
O.H.P	所有数	1	1	1	1	1
	利用者数	0	0	0	0	0
ビデオデッキ	所有数	1	1	1	1	1
	利用者数	0	1	0	0	0
ビデオカメラ	所有数	1	1	1	1	1
	利用者数	0	0	0	0	0
ビデオプロジェクター	所有数	1	2	2	2	2
	利用者数	0	4	6	0	0
ワイヤレスマイク	所有数	1	1	1	1	1
	利用者数	2	5	8	6	8
スクリーン	所有数	6	6	6	5	5
	利用者数	0	0	1	1	6
暗幕	所有数	4袋(8枚×3)・(4枚×1)	4袋(8枚×3)・(4枚×1)	4袋(8枚×3)・(4枚×1)	4袋(8枚×3)・(4枚×1)	4袋(8枚×3)・(4枚×1)
	利用者数	4	3	16	11	16
延長コード	所有数	2	2	2	2	2
	利用者数	8	11	16	11	7
巻き戻し機	所有数	5	5	5	1	1
	利用者数	0	0	0	0	0